



近江鉄道

NEWS RELEASE

近江鉄道株式会社

滋賀県彦根市駅東町 15 番 1

<https://www.ohmitetudo.co.jp>

13th

2026 年 9 月 18 日

～駅を結節点に、観光地の回遊性向上と新たな移動手段の可能性を検証～

彦根城周辺で次世代モビリティを活用した実証実験を開始しました

実施期間：2026 年 9 月 17 日（木）～2027 年 1 月 17 日（日）

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：藤井 高明）は、彦根市（市長：田島 一成）、BRJ 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮内 秀明）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 滋賀支店（所在地：滋賀県大津市、支店長：勝谷 晋典）と連携し、「次世代モビリティを活用した観光まちづくりに向けた連携協定書」に基づく、彦根城周辺での次世代モビリティを活用した実証実験を、2026 年 9 月 17 日（木）から開始しました。

彦根城の世界遺産登録に向けた機運が高まる中、彦根駅等の交通結節点と観光エリア内の移動をつなぐことで、来訪者の利便性・回遊性の向上や移動のしやすさ向上に向けた効果、ならびに新たな移動手段の可能性を検証します。



次世代マイクロモビリティ『TOCKLE』（三輪電動シートボード）

■当社の参画意義と役割

滋賀県彦根市に本社を置く企業として、彦根を重要な拠点の一つと位置づけています。彦根駅は観光の玄関口であり、地域の公共交通を担う立場から、駅周辺を起点とした回遊性向上に取り組むことに意義があると考え、本協定に参画いたしました。

主な役割は、商業施設内を含むポート用地の提供に加え、公共交通と次世代モビリティの相互利用を促進する広報、利用促進に向けた企画立案です。

さらに、グループが展開する鉄道・バス・タクシーと次世代モビリティを連携させ、来訪者の利便性向上と地域内移動の選択肢拡大を図るとともに、彦根城周辺の観光回遊を面的に広げる効果や新たな移動手段としての可能性を検証します。

本実証で得られる知見を今後の活用のあり方の検討に活かし、彦根の魅力向上とにぎわい創出、観光まちづくりに貢献してまいります。

■連携先各社の役割

連携先	役割
彦根市	地域内調整、来訪者への広報等
B R J 株式会社	マイクロモビリティシェアリング事業
近江鉄道株式会社	ポート用地の提供、公共交通・マイクロモビリティ相互利用のための広報、企画立案等
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	マイクロモビリティにおける保険の提供、テレマティクスデータの提供等

■実証実験の概要

- 【実施期間】 2026年9月17日（木）～2027年1月17日（日）
- 【対象エリア】 彦根城を中心とする半径約5kmのエリア
- 【車 両】 二輪電動キックボード・三輪電動シートボード 計20台
- 【利用料金】 基本料金150円 20分ごとに200円（1時間500円、3時間1,200円のクーポンあり）
- 【対 象 者】 16歳以上（免許不要）
- ※公道走行にあたっては、ヘルメットの着用は努力義務とし、
道路交通法等の関係法令および交通ルールを遵守してください。

【ポート設置場所】

彦根市内6箇所

（彦根駅西口／夢京橋ポケットパーク／京橋口駐車場／二の丸駐車場／彦根港／cocotto HIKONE）

※彦根港は2026年10月上旬に開設予定です。



■取組内容と検証のポイント

本実証では、駅・港という交通結節点から観光地までの「ラストワンマイル」を次世代モビリティで補完し、観光客の面的分散・周遊性向上、滞在時間の延長、特定エリアの混雑緩和および満足度向上を図ります。

あわせて、QRコード付きポスターを市内各所に配置し、多言語対応のWebサイトへ誘導することで、訪日外国人観光客の自然な周遊を促進します。

さらに、ジオフェンシング機能を活用して立入禁止エリアへの侵入を防止し、「回遊促進」と「マナー遵守」を一体的に実現する運用モデルの構築を目指します。

◇お客さまからのお問合せ先

近江鉄道株式会社 不動産部

TEL.0749-22-3304（平日8：30～17：30）

<参考>

●2026年9月15日リリース

彦根市・BRJ株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携協定を締結しました

URL：<https://www.ohmitetudo.co.jp/file.jsp?id=20667>